



鹿児島県鹿児島市

セーフコミュニティプログラムに関する報告



コミュニティ名：鹿児島市

国：日本国

コミュニティの人口：605,610 人（2015年6月1日現在）

セーフコミュニティプログラムを開始した年：2013年

◆国際 SCN メンバーシップ：

認証年：2016年

認証した認証センター：アジア認証センター

プログラムに関する情報が得られるウェブサイトの有無：いいえ はい（以下の URL を参照）

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/shimin/kikikanri/anshin/bosai/torikumi/index.html>

◆詳細に関する問い合わせ：

名前：古河 春美

組織：鹿児島市市民局危機管理部安心安全課

住所：鹿児島県鹿児島市山下町 11-1

郵便番号：892-8677

自治体名：鹿児島市

国名：日本国

電話番号（国番号を含む） +81-99-216-1209

ファックス：+81-99-226-0748

メールアドレス：anshin@city.kagoshima.lg.jp

コミュニティや組織の情報を得られるウェブサイトの有無：いいえ はい（以下の URL を参照）

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

◆年齢ごと

- ★…対策委員会の取組み

子ども 0-14 歳

家庭：

- ・安心安全ガイドブックの作成
- ・家庭児童相談員設置
- ・乳幼児健康診査
- ★家庭内での事故・けがに関する情報の発信（及び講演会）
- ★児童への安全教育
- ★体力向上プログラム（A）
- ★職員による室内、園庭等の安全点検



交通：

- ・児童通学保護員の設置
- ★保護者等も含めた参加体験型の交通安全教育等
- ★交通安全マップの作成

学校：

- ・地域ぐるみの学校安全体制整備
(通学路での見守り活動、防犯の専門家による巡回指導や学校安全体制整備の評価)
- ・教育相談（いじめなど）
- ★校内パトロール、危険箇所マップづくり（B）、「危険」などの表示、ポスターの掲示、集会活動における呼びかけ、部活動時のけが防止活動による児童生徒の主体的な活動

スポーツ：

- ・スポーツ少年団指導者研修会

余暇：

- ・公園維持管理、公園遊具等安全点検

若者 15-24 歳

家庭：

- ・安心安全ガイドブックの作成



- ・家庭児童相談員設置

交通：

- ★シートベルト着用の啓発活動（全席シートベルトの着用）
- ★企業等への交通安全講習等（C）
- ★保護者等も含めた参加体験型の交通安全教育等
- ★交通安全マップの作成



職場：

- ・雇用・労働相談
- ・リスクアセスメントの促進

学校：

- ・地域ぐるみの学校安全体制整備
（通学路での見守り活動、防犯の専門家による巡回指導や学校安全体制整備の評価）
- ・教育相談（いじめなど）
- ★校内パトロール、危険箇所マップづくり（B）、「危険」などの表示、ポスターの掲示、集会活動における呼びかけ、部活動時のけが防止活動による児童生徒の主体的な活動

スポーツ：

- ・スポーツ少年団指導者研修会
- ・社会体育指導者の養成

余暇：

- ・公園維持管理、公園遊具等安全点検

成人 25-64 歳

家庭：

- ・安心安全ガイドブックの作成
- ・認知症オレンジサポーター養成

交通：

- ★シートベルト着用の啓発活動（全席シートベルトの着用）
- ★企業等への交通安全講習等（C）
- ★交通安全マップの作成

職場：

- ・雇用・労働相談
- ・リスクアセスメントの促進

スポーツ：

- ・社会体育指導者の養成

余暇：

- ・公園維持管理、公園遊具等安全点検

高齢者 65 歳以上

家庭：

- ・安心安全ガイドブックの作成
- ・認知症オレンジサポーター養成
- ・はっらっ元気づくり教室
- ★転倒予防のための料理教室・講習会の実施（D）
- ★転倒予防教室等の実施
- ★住環境の改善
- ★認知症に関する意識啓発
- ★民生委員・認知症見守りメイトによる見守り活動



交通：

- ★シートベルト着用の啓発活動（全席シートベルトの着用）
- ★高齢運転者に対する安全運転講習等
- ★参加体験型の交通安全教室等
- ★夜光反射材の着用啓発
- ★高齢者の世帯訪問による交通安全教育
- ★交通安全マップの作成

スポーツ：

- ・社会体育指導者の養成

余暇：

- ・公園維持管理、公園遊具等安全点検

◆自然災害：

- ・自主防災組織育成
- ・桜島火山爆発総合防災訓練
- ★住民の避難状況の把握
- ★避難行動要支援者の避難体制確立
- ★避難訓練の充実強化（E）



◆その他：

- ・地域安心安全ネットワーク会議活動支援
- ・AEDの設置・周知
- ・市立病院安心安全に関する職員全体研修
- ・桜島フェリーの事故処理に関する訓練



◆暴力予防（意図的傷害）：

- ・児童虐待防止街頭キャンペーン
- ・パープルリボンキャンペーン
- ・高齢者虐待防止対策
- ★子育てに悩みがある保護者の相談及び子育ての体験談の情報発信
- ★児童虐待予防の学習会
- ★DV（ドメスティック・バイオレンス）防止のための情報提供及び啓発（F）
- ★若者による若者のための暴力未然防止活動
- ★相談員の資質向上

◆自殺予防（自傷）：

- ・自殺に関する相談
- ★自殺予防の普及啓発
- ★50～69歳の周囲の人への支援（G）
- ★相談しやすい場の設定
- ★相談窓口の周知



◆ハイリスクグループに対する取組：

ハイリスクグループは：

自殺リスクの高い50・60歳代の人

- ★自殺予防の普及啓発



(広報・周知やメンタルヘルス講演会等の実施)

- ★50～69歳の周囲の人への支援（ゲートキーパー養成講座の開催）
- ★相談しやすい場の設定
- ★相談窓口の周知

虐待を受ける子ども

- ★子育てに悩みがある保護者の相談及び子育ての体験談の情報発信
- ★児童虐待予防の学習会

転倒によりけがをしやすい高齢者

- ★転倒予防のための料理教室、講演会、転倒予防教室等の実施
- ★住環境の改善

虐待（DV：ドメスティック・バイオレンス）を受ける女性

- ★DV防止のための啓発講座や研修会等の実施
- ★相談員の資質向上（DV被害者支援啓発講座等の開催）

夜間・歩行中の高齢者

- ★参加・体験型の交通安全教室等の開催
- ★高齢者の世帯訪問による交通安全教育
- ★夜光反射材の着用啓発

ハイリスク環境の近くで生活する人

- ★住民の避難状況の把握（住民一覧表の作成）
- ★避難行動要支援者の避難体制の確立
- ★避難訓練の充実強化

◆外傷サーベイランス：

鹿児島市は、各関係機関から提供された人口動態統計・救急搬送データ等の既存の統計データを収集し、外傷発生動向を把握している。

また、既存データでカバーできないヒヤリハットや安心安全に関する意識などを把握するため、市民を対象としたアンケート調査を実施している。

年間件数： 150件（人口動態統計データ 2008年～2012年の5年間の外因による死亡者数の平均）

5,956件（救急搬送データ 2010年～2014年の5年間の救急搬送された人数の平均）

調査数：11,837件（事故やけがに関するアンケート調査 2012年度～2014年度の3年間の調査数の合計）

人口基盤：605,610人（2015年6月1日現在）

開始年：2012年

◆出版： 市民のひろば

学術書： 市が毎月市民向けに発行している「かごしま市民のひろば」でセーフコミュニティ活動の周知を図っている。

情報キット： パンフレット、リーフレット、ポスター、地方新聞、かわら版、ホームページ

◆スタッフ



人数 : 7人
職業 : 鹿児島市職員
非常勤か常勤か: 常勤7人
正規雇用 : 6人
非正規雇用 : 1人

◆組織:

安全向上のための特定の分野横断的組織:

鹿児島市セーフコミュニティ推進協議会

鹿児島市外傷サーベイランス委員会

鹿児島市分野別対策委員会（7分野：交通安全、学校の安全、子どもの安全、高齢者の安全、DV防止、自殺予防、防災・災害対策）

一般的公衆衛生・健康増進のグループ:

鹿児島市健康総務課・長寿支援課・介護保険課・子育て支援推進課・鹿児島市保健所（保健総務課・生活衛生課・保健予防課）・保健センター

◆国際的コミットメント:

2012年6月 韓国済州島日韓合同ワークショップ

2012年11月 第6回アジア地域セーフコミュニティ会議（東京都豊島区）

2014年5月 第7回アジア地域セーフコミュニティ会議（韓国釜山市）※ポスター発表